

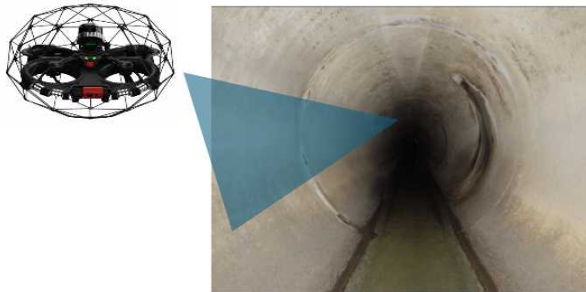
協定の締結経緯及び概要紹介

令和7年8月2日の下水道管路の点検作業中の事故を受け、今後二度と起こさないようにするために、様々な観点からどのようなことに取り組む必要があるか検討してきた。下水道点検作業の安全性の確保として下水道管路内に侵入することなく点検が出来ないかに着目した結果、NTT東日本株式会社の技術を活用し、下水道管路の点検作業の課題解決に向け協定締結に至った。

点検

ドローンによる管路内データ収集

Elios3を活用したデータ収集

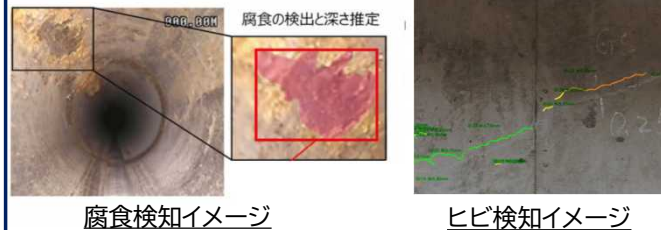


マンホール内に作業員が入らないため
有毒ガス(硫化水素)中毒や酸素欠乏症や
高所での作業による転落事故の危険がない

診断

実証①収集データのAI解析

ヒビ検知をトライアル実施
腐食、サビ、剥離等の学習データ収集



AIにて自動解析することにより
作業員による点検内容のばらつきを解消し
精度の向上及び効率化を図る

管理

実証②下水道PFによる報告作業の効率化

下水道台帳、GIS、点検票の自動作成と表示機能
効率的な時系列ごとの点検結果管理も可能に



台帳機能
(基礎情報、検索、編集…)

GIS機能
(地図表示、色分け…)

点検票作成機能
(点検票への自動反映、表示…)

一元化PFの活用により
デジタル化を目指した
仕組みの検討

安全性の確保・業務効率化